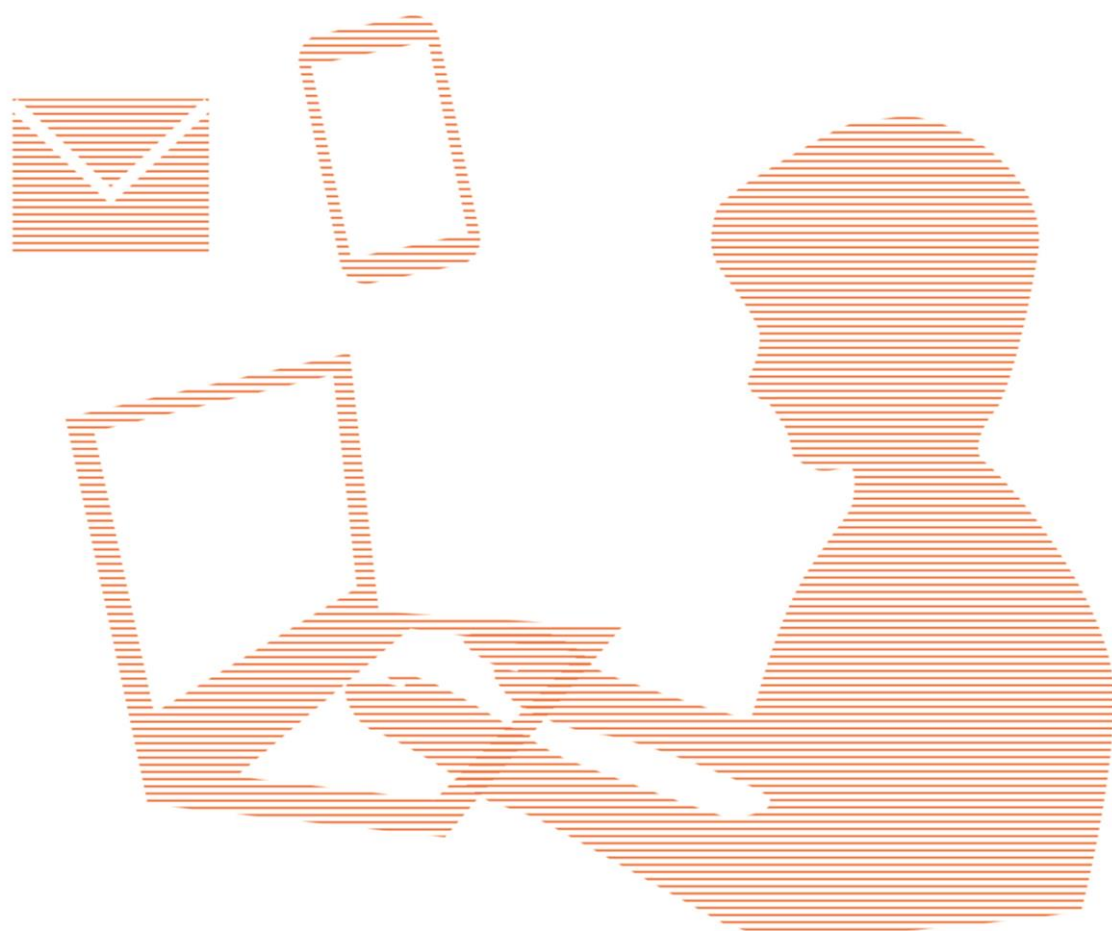


いたばし No1.実現プラン 2025

重点戦略Ⅱ DX 戦略



次世代教育の実現へ！板橋区スマートスクールプロジェクト！！

事業概要



GIGA スクール構想

GIGA とは「Global and Innovation Gateway for ALL」の略。児童生徒向けの一人一台端末とクラウド活用を前提として高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するもの。

事業の内容



より深い学びを実現

教育 ICT 環境の整備で効果的な学びを支援

GIGA スクール構想の実現に向け、区立小・中学校における一人1台端末と高速大容量通信ネットワークを一体的に整備し、パソコン端末を最大限活用した教育環境を整えます。

区では、板橋区スマートスクールプロジェクトとして、学校内ネットワークの整備、子どもたちへのパソコン端末及び学習ソフトウェアの導入、家庭のインターネット環境の整備に向け就学援助として費用の一部支援等を行い、ICT 機器を活用した教育環境を整備します。そして、オンライン授業の実施や子どもたち一人ひとりの状況に則した効果的な学びを支援し、創造性を育む教育を行います。

個別最適化された教育で学びを深める

屋外授業でも使用でき、様々な授業形式や用途に応じて使い分けができる 360°回転の液晶ディスプレイを装備したパソコンを児童・生徒一人に1台配布し、高速通信ネットワーク環境を整備します。ソフトウェアには、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」すべての学習方法に適したクラウド型ソフトを導入します。これにより、きめ細やかな指導と双方向型の授業展開、学習履歴による理解度に応じた個別学習の指導、さらには、各人の意見や考えを即時に共有することで、他者との相違や共通点を見つけるなど、より深い学びを実現します。

さらに、次の関連施策において、ICT 機器等の活用により取組を推進していきます。

【不登校対策】

フレンドセンターの活用、オンライン授業の実施、学校にいけない児童生徒へのコミュニケーションロボットの活用（実証事業）などにより、支援を行う。

【読み解く力の育成】

パソコンは、アウトプット・表現ツールの一助となるため、ICT 機器を活用しながら「読み解く力」を育成する授業を展開する。

【プログラミング教育の充実】

令和2年3月に「板橋区小学校プログラミング教育指導計画」を策定し、小学校における教育の充実と中学校技術分野における学習と結び付け、義務教育終了時におけるプログラミング的思考力の育成に努める。

予算

1,674,109 千円

(内訳)高速通信ネットワーク環境整備 485,381 千円
パソコン等機器の管理・運用 985,289 千円
ICT 支援員の配置 203,439 千円

主管課・問い合わせ先

教育委員会事務局 教育支援センター

課長 平沢 安正 Tel.3579-2189

担当者 金子 勝 Tel.3579-2196

実施の背景・目的

次世代の板橋区立学校を実現

Society5.0 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術の活用が必須です。GIGA スクール構想は、ICT 機器を活用した教育を実践する次世代の人材を育てていきます。

また、授業教材の共有化や準備の効率化、オンライン会議による出張の軽減、ドリル教材による自動採点など、教職員の授業力向上と働き方改革を実現します。当初、令和 5 年度末までの国の計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度末までの計画の変更に伴い「板橋区スマートスクールプロジェクト」を策定しました。これに基づき、令和 3 年 3 月末までに全小中学校の児童生徒へパソコン端末を配付し、令和 3 年 9 月に運用を開始します。運用に向けては、教職員へのサポート体制を強化し、本プロジェクトの一層の推進を図ります。



Society5.0

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)のこと。IoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、社会問題や様々な課題や困難を克服する。

今後のスケジュール

令和 3 年 4 月～ 通信ネットワークの変更
パソコンの設定変更
インターネット回線の切替
9 月 授業における運用開始

「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ

工夫次第で、学びの可能性は無限大に。

ステップ3
教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現に活かす。

ステップ2
教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

例えば…

社会の授業で、各自収集した様々なデータや地図情報を PC 上で重ね合わせて深く分析。

例えば…

授業テーマに応じて、文章や動画を収集し、“すぐにも” “どの教科でも” “誰でも”活かせる 1 人 1 台端末
情報の真贋を判断し、整理する。

出典：文部科学省「GIGA スクール構想」について



DX の推進で区民サービスの向上と業務の効率化を実現

事業概要



Web 会議の様子

新たな日常の核となるデジタルトランスフォーメーション

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ICT を活用したテレワークやリモート会議、行政手続きのオンライン化の必要性が高まっています。一方で、区の事務のデジタル化や手続きのオンライン化には遅れがみられることから、ICT の利活用により人々の生活を良い方向に変えていくデジタルトランスフォーメーション（以下、DX とする）の推進が急務となっています。区では DX を推進し、業務の効率化、働き方改革、区民サービスの向上につなげていきます。

事業の内容

【情報システムアドバイザリー】

★委託内容

- ・システムアセスメント支援

システム導入計画の必要性やコストの妥当性について支援

- ・ICT 活用検討支援

所管課の業務分析結果に基づく ICT の活用について支援

★効果

・専門家の客観的な評価による業務の質の向上とシステム導入経費の抑制

・業務改善につながる ICT の効果的な導入

・区職員の人事異動に左右されない体制の確立

- ・職員の業務負担の軽減

ICT の利活用で区民サービスの向上と業務の効率化

(1)テレワーク・ビジネスチャットツールの導入、Web 会議環境の充実

庁舎外から全庁 LAN に接続できる通信環境とビジネスチャットツールの導入でテレワーク環境を構築するとともに、Web 会議システムが可能な環境を充実させ、コロナ禍における業務継続性の担保や多様な働き方を実現します。

(2)情報システムアドバイザリーの導入

情報システム導入や改修の必要性等の評価や、ICT を用いた業務改善について、専門的な見地から支援を受け、区の ICT 化を効率的に進めます。

(3)全庁 LAN 環境の再構築

全庁 LAN のパソコン及びサーバー機器等の更新に合わせ、業務効率化や働き方改革につながるような全庁 LAN 環境の再構築を行います。

(4)RPA・会議録作成支援システムの継続的な活用

令和 2 年度から導入した両システムを継続的に運用して、利用する業務や主管課を増やし、業務効率化を更に推進します。

(5)マイナポータルにおける電子申請サービスの拡大

マイナポータルの電子申請機能（ぴったりサービス）で申請可能な手続きを増やし、区民の利便性向上を図ります。

予算

485,888 千円

(内訳) テレワーク・ビジネスチャットツール等	42,895 千円
情報システムアドバイザリー	6,793 千円
全庁 LAN 再構築	428,344 千円
RPA・会議録作成支援システム	6,919 千円
電子申請機能のサービスの拡大	937 千円

主管課・問い合わせ先

政策経営部	IT 推進課
課長 関根 昭広	Tel.3579-2040
経営改革推進課(テレワーク関連)	
課長 三浦 康之	Tel.3579-2014

実施の背景・目的

新たな時代に向けて計画的に環境を整備

区ではこれまで「板橋区 ICT 推進・活用計画 2020」を策定し、ICT 活用の着実な推進に取り組んできました。今般、新型コロナウイルス感染症の影響で、更なるデジタル化やオンライン化を、スピード感を持って進めていく必要が生じています。そこで、区では、これまで構築してきた成果を基盤にしつつ、新たな時代に対応する計画として「板橋区 ICT 推進・活用計画 2025」を策定し、区民及び区が ICT の利便性を享受できる環境を計画的に構築していきます。

また、組織改正により DX 担当を配置することで、効果的に DX を推進していきます。



今後のスケジュール

【テレワーク】

- 令和 3 年 4 月～ 仕様検討・機器調達
- 令和 3 年 10 月～ システム構築・運用テスト
- 令和 4 年 4 月 本稼働

【全庁 LAN システムの再構築】

- 令和 3 年 4 月～ 仕様検討・機器調達
- 令和 3 年 8 月～ システム構築・運用テスト
- 令和 3 年 12 月 本稼働

【情報システムアドバイザリー】

- 令和 3 年 5 月 委託開始

